

【研修報告】

入所者さんの特性に応じたポジショニングについて学びました

11月20日（水）、27日（水）に褥瘡対策・食生活委員会による「各入所者の特性に応じたポジショニング研修」が行われました。当施設の機能訓練指導員が講師となり、実践形式での研修会でした。

ベッドで休まれている時には、クッション等を活用し、体幹が捻じれないよう、肩、腰、膝の位置をまっすぐにする、肘や膝等の関節の曲げ伸ばしを1日1回行うことで関節の拘縮を予防できること、座っておられる方で、身体の傾きがある方は、肩甲骨と腰部を支えるようにクッションを入れることなどを学びました。

身体のしくみに沿ったポジショニングを行い、入所者さんや利用者さんの安全、安楽な生活をサポートしていきたいと思えます。

